



1  
平成23年11月5日  
平成23年度ホームカミングデー  
於：熊本大学・工学部100周年記念館

## 熊本大学の現状と将来への課題 ＝誇れる大学から憧れの大学へ＝



熊本大学長  
谷口 功



## 平成23年度 熊本大学 名誉フェロー／名誉博士 称号 受章者



元工学部・教授  
元工業会・会長  
元同窓会連合会・会長

元教育学部・教授

名誉フェロー：  
園田頼和 先生

名誉博士：  
Rosen Alan David 先生

2

- 1) 熊本大学の歴史と今日：再認識のために
- 2) 大学を取り巻く状況
- 3) アジアの中の日本／世界の中の日本
- 4) 熊本大学の活動から

## 熊本大学

在学生、卒業生、職員、市民の皆様が、  
誇れる大学であり、社会の憧れの存在として、  
地域に根ざして  
グローバルに展開する未来志向の研究拠点大学



3

再春館（医学校）（1756）  
再春館から250年、五高から120年の  
歴史と伝統を誇る熊本大学

第五高等学校（1887）

新制熊本大学（1949） ==> 60周年事業（2009）

第五高等学校、熊本医科大学、熊本薬学専門学校、熊本師範学校、  
熊本青年師範学校、熊本工業専門学校 などを統合

4 キャンパス; 7 学部  
8 大学院, 14 研究所・研究センター



学生数: 10,211 (含 大学院学生: 2,188); 卒業生: ~120,000  
教員: 1,017; 職員: 1,019 (附属病院の看護師等を含む)



嘉納 治五郎  
講道館柔術を創始。  
第三代第五高等学校  
校長。



ラフカディオ・ハーン  
小泉八雲として知られ  
る英国人。英語とラ  
ン語の教師。



夏目 漱石  
明治29年五高教授。  
「草枕」等を執筆。



### 著名な卒業生



寺田 寅彦  
物理学者・随筆家。五高  
で漱石に師事。東大教  
授。独特の写生文や科学  
随筆で知られる。



佐藤 栄作  
政治家・首相。昭和47年  
沖縄返還を実現。  
ノーベル平和賞を受賞。

熊本大学  
**アクションプラン 2010**

地域に根ざし、グローバルに展開する  
未来志向の **研究拠点大学**

誇れる大学から  
憧れる大学を目指して

Kumamoto University

伝統を受け継ぎ、そして未来へ

7 教育力の強化

2 研究力のアップ

3 社会貢献の推進

4 国際化の推進

学長の4つの約束

1 教育力の強化  
2 研究力のアップ  
3 社会貢献の推進  
4 国際化の推進

# 熊本大学／第五高等学校

剛毅木訥  
質実剛健

ハーン／漱石

ハーン  
熊本スピリッツ (素朴・善良・質素)

入神致用 (勝 海舟)

ナンバースクール

明治20年(1887)4月		
一高	東京市	東京大学
二高	仙台市	東北大学
三高	京都市	京都大学
四高	金沢市	金沢大学
五高	熊本市	熊本大学
=====		

明治33年3月		
六高	岡山市	岡山大学
明治34年4月		
七高	鹿児島市	鹿児島大学
明治41年3月		
八高	名古屋市	名古屋大学

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>  
<http://www.goko.kumamoto-u.ac.jp/>

## 学長の4つの約束

- 教育力の強化：**  
学生が豊かな人生を送るための「知力」を獲得できる教育を強化します。  
=>>卒業生が国際社会で活躍できる社会の「人材」となるように
- 研究力のアップ**  
世界の先端的研究を推進し、特色ある基礎的研究を強化します。  
=>>未来を見据えて時代を創製する(人や社会を幸せにできる研究：憧れの大学)
- 社会貢献の推進**  
社会貢献のために、地域と連携してさまざまな取り組みを進めます。  
=>>大学の発展は地域の発展とともに(学生が輝くまち、くまもと)
- 国際化の推進**  
留学生500人計画など、大学の国際化に向けて国際交流を強化します。  
=>>熊本県の2,000人の留学生誘致戦略(高等教育コンソーシアム熊本)

熊本大学は、在学生、卒業生、職員、市民の皆様が、  
誇れる大学であり、社会の憧れの存在として、  
また、地域に根ざしてグローバルに展開する未来志向の研究拠点大学として、  
益々磨きをかけたい。

## 九州・熊本 RGBの魅力

### 火の国／森の都／水の都 我が国の豊かな歴史と文化

熊本の今：九州新幹線全線開通（3／12）  
政令指定都市へ（来年4／1）

豊かな環境・観光資源／高度医療（安全安心）／  
知識基盤社会（学園都市・研究開発）の中核都市  
（熊本は、京都に次いで人口比学生の多い街）

### 我が国を代表する国際都市へ 市、県、大学、産業界の連携

九州のまちはそれぞれの魅力を大切にして、  
全体として魅力ある地域に

8

活用が  
期待される  
地域の  
大切な資産

本学の  
歴史的な  
建造物  
（文化財）

9

学長特別講義  
新入生約1800人に  
50～80人単位で  
計24回に分けて実施  
於：化学実験場



工学部研究資料館

国指定重要文化財

10

1) 熊本大学の歴史と今日：再認識のために  
==> 「人財」育成が全ての根幹

2) 大学を取り巻く状況

3) アジアの中の日本／世界の中の日本

4) 熊本大学の活動から

## 中央教育審議会・大学分科会での審議

11

大学を取り巻く状況

地球的な課題：エネルギー・地球環境の持続可能性確保／食料・医療・健康 など 人類として取り組むべき課題山積

国際的には：アジア地域の経済活動の一体化／グローバル化・経済競争の激化／価値観の対立や流動化 <==アジア諸国の急速な発展

国内：少子高齢化／労働人口の減少／雇用懸念／財政状況の悪化／安全安心の確保 などに取り組みながら成長力の確保

==> 東日本大震災後の復興に当たり、益々重要性を増している

人材（財）：世界の動向を理解／想定外の事象に自ら判断できるリーダー／地域社会を支え産業構造変化に持続的な対応ができる教養・専門能力

==> 大学の役割・責任が大きくなっている

## 大学を取り巻く厳しい環境

12

運営費交付金等（国（社会）からの支援）に対する厳しい状況

==> **新たな課題**

高等教育の重要性：社会（国）の将来への投資（cf. フィンランド）

（政策における基本方針としての位置付け（認識）が必要）

==> **（H23、24年度）東日本大震災への対応**

不安定な社会情勢：予算／経費削減／節電 等に様々な形で影響

国立大学とは何か／その役割は？（なぜ国立大学が必要か）

国民の期待や社会の要請に如何に応えるのか

==> **皆さんと一緒に、社会の期待に応えたい**

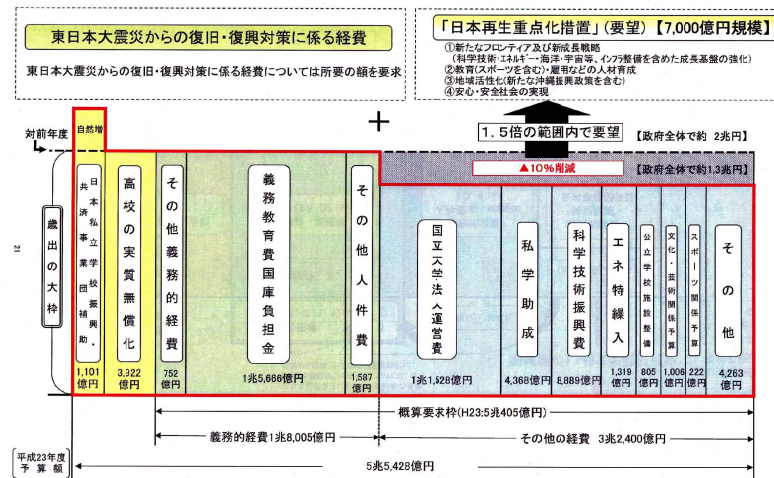
**大学の使命：教育（人材育成）／研究（知の創造）／社会貢献**

中長期的な対応と当面の対応の両面が要請されている

高等教育機関（大学等）も役割分担と機能強化（再編が不可避）

## 平成24年度文部科学省における概算要求組替え基準の姿

13



は、基礎的財政収支対象経費（政府全体で71兆円）を示す。

文科省：H24年度概算要求枠 47,103億円（H23年度比減額3,240億円）

## 熊本県内への効果

・産学連携の中核的役割／・地域医療の拠点／・地域文化拠点

大学の存在が地域経済に寄与！！

==> **知の拠点**

14

### 1. 生産誘発額

<直接効果>

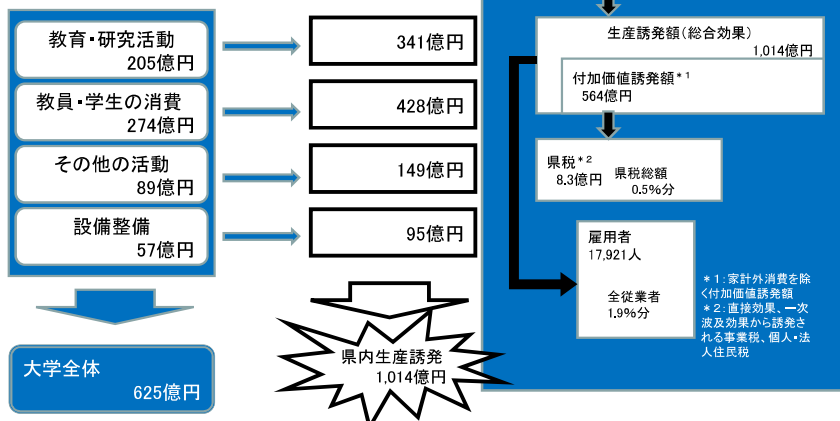
<生産誘発額>

効果の大きな産業

化学製品：7.2億／商業：8.7億／食料品7.2億

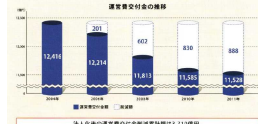
不動産9.8億／農林水産6.7億／運輸：7.2億

対事業所サービス：8.6億／対個人サービス：6.6億 等



## 日本の未来を支える国立大学

経費に占める日本の世界で研究費を占める割合は、持続的な発展を実現するには、国立大学への国家財政の投入の増大が不可欠です。



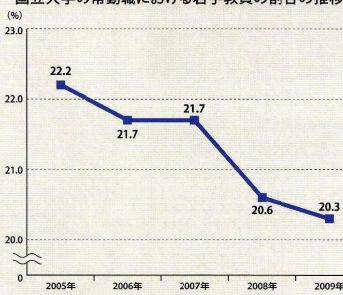
反省すべきことはあるが、国立大学に対して

このまま支援が減少し続けると.....

さらに、総人件費1%削減の問題もある

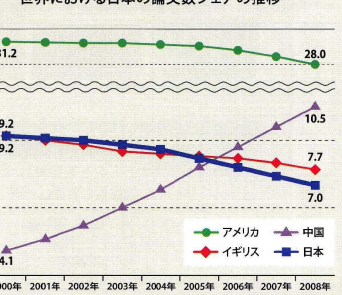
15

## 国立大学の常勤職における若手教員の割合の推移



若手教員（37歳以下）の常勤での採用が減り、研究基盤が弱体化

## 世界における日本の論文数シェアの推移



研究活動の不安定さ・研究者の多忙化が、論文数シェアにも影響している。

**教育・研究分野の活動低下が懸念されます。**



### 留学生間の交流



県内の大学・高専の外国人留学生を対象にした熊本県の観光ボランティアガイド養成講座が15日、熊本市の官民国際交流協会館で開かれた。専業、留学生たちに熊本をさらに深く知ってもらい、観光にも役立ててもらおうと、熊本留学生交流推進会議（議長・宮口功熊本大学長）が初めて企画した。

「熊、朝飯、マダガスカル出身などの23人が受講。初日は、熊本観光ボランティアガイドの司見研二さん(38)が熊本城の歴史や、武者返し」と呼ばれる

**熊本城案内に役立てて！**  
留学生対象観光ガイド養成講座始まる

独自の曲線美で知られる石造の建造などについて説明、留学生らは熱心なメモを取っていた。講義は11月まで8回あり、前半4回は夜学、後半4回は実地研修がある。

タイ出身の熊本学園大留学生チームシュム・ナリワットさん(22)は「城の形が美しく好きで、歴史も詳しく知りたいと参加した。詳しくなってることの友人らを案内したい」と話していた。(右下載)

H22.6.9(水)付  
熊本日日新聞

### 留学生の登用



留学生を  
主役にした  
登用が重要

留学生に  
活躍の場を

## 辛亥革命 孫文と九州<熊本>: Xinhai Revolution in 1911 Centennial (100 years) anniversary

<宮崎兄弟>

・弥蔵:「アジア諸民族が国家の枠を超えて 西洋列強に対抗する」という理想を説く

・滔天: 孫文支援の運動に奔走

著書「三十三年の夢」にて、世に初めて革命のリーダーとしての孫文を紹介  
一多くの中国人に存在を知らしめる

1905年、滔天が仲介となって、孫文と黄興が手を結ぶ(中国同盟会)  
孫文は荒尾の生家を2度訪ね、

「革命に懈(おこた)らざる者は宮崎兄弟なり」との語を残す



孫文



宮崎 滔天

Collaboration

赤誠友誼

辛亥革命100周年記念シンポジウム  
10月22日(土): 荒尾市

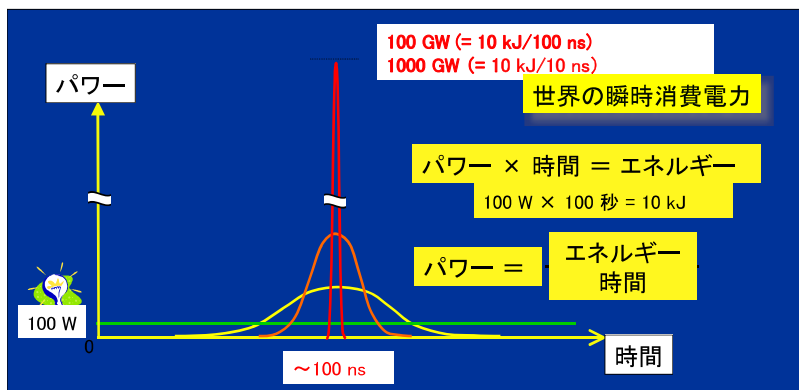


## 主な競争的資金採択状況

グローバルCOEプログラム	地域結集型研究開発プログラム
<p><b>細胞系創制創研究の国際的人材育成ユニット</b> 実施期間: 平成19~23年度 分野: 生命科学 拠点リーダー: 発生医学研究所 桑 昭亮 教授</p>	<p><b>次世代耐熱マグネシウム合金の基盤技術開発</b> 実施期間: 平成18~22年度 研究代表者: 自然科学研究科 河村 能人 教授</p>
<p><b>エイズ創薬を目指した国際教育研究拠点</b> 実施期間: 平成20~24年度 分野: 医学系 拠点リーダー: 医学薬学研究所 満屋 裕明 教授</p>	<p><b>科学的若手研究者の自立支援人専制度改革</b> 「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」事業 実施期間: 平成19~23年度</p>
<p><b>新エネルギー工学グローバル先進拠点</b> 実施期間: 平成20~24年度 分野: 機械、土木、建築、その他工学 拠点リーダー: 自然科学研究科 秋山 秀典 教授</p>	<p><b>科学技術振興調整費</b></p> <p><b>眺めわたる環境マスターステップ推進プログラム</b> 「地域再生人材創出拠点の形成」事業 実施期間: 平成19~23年度</p> <p><b>県分野融合型イノベーション推進人材の育成</b> 「イノベーション創出若手研究人材養成」事業 実施期間: 平成21~25年度</p> <p><b>先進VLSI合金開発に関する東アジア連携の構築</b> 「アジア・アフリカ科学技術協力の戦略的推進」事業 実施期間: 平成21~23年度</p>

- 1) 熊本大学の歴史と今日: 再認識のために
- 2) 大学を取り巻く状況
- 3) アジアの中の日本/世界の中の日本  
=>九州はもともと国際的なまち  
世界との連携が不可欠  
世界の元気を取り込んで元気になる  
国際化: 日本の良さを際立たせる
- 4) 熊本大学の活動から

# パルスパワー (衝撃エネルギー)



エネルギーは小さくても、時間的に圧縮すると**巨大電力**を発生可能。

→ **パルスパワー技術**

パルスパワーの作用時間は極めて短いので、**熱非平衡状態**が得られる。  
さらに、空間的にも圧縮すると**超高エネルギー密度状態**が得られる。

# KUMADAIマグネシウム合金 -CREATEの将来構想-

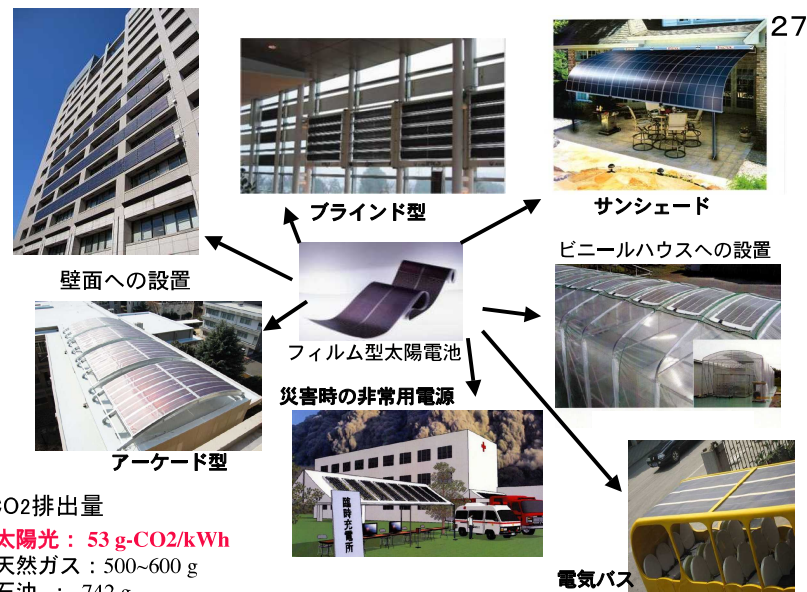
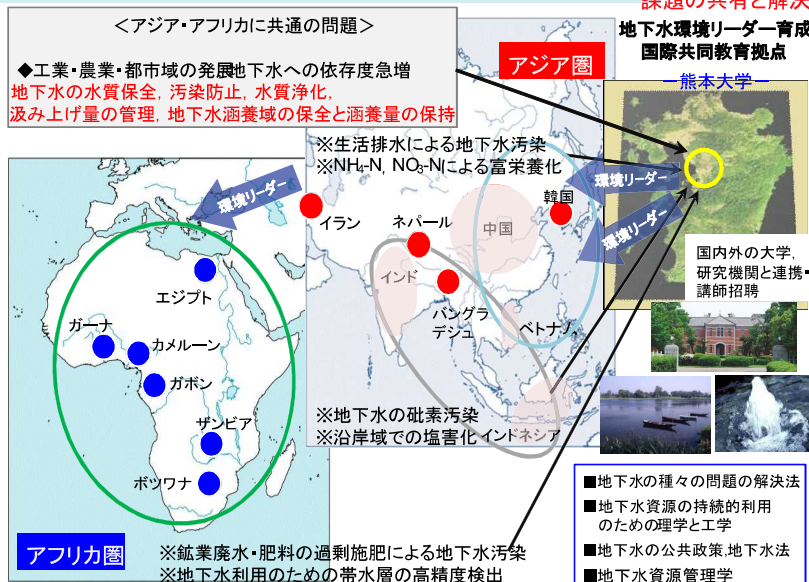


■ 将来を見据えた、【知財】・【試作】・【人材育成】を介した技術移転体制の構築



# 諸外国の課題やニーズに対応した機動的な人材育成

課題の共有と解決







## 支援者・関係者（ステークホルダー）との連携

33

- 国／教職員／学生（保護者）に加えて  
高校生／社会人／留学生 小・中・高等学校 国内外の社会・大学  
地域の産業界／企業 地域住民／NPOなど 県・市・町村 等との連携が必要  
本学の場合：
- 例1) 同窓会との連携
- 1) 銀杏の校章（襟章）復活
  - 2) 60年史（写真集／部局史／通史の3部作）の配布
  - 3) 九州新幹線開通記念 熊本大学見学招待ツアー  
同窓生と高校生（ホームカミングデー：関西地区から）
  - 4) 名誉フェローに次ぐ学長表彰制度の検討中
  - 5) 東京連合同窓会に続いて、関西連合同窓会／関西オフィスの開設の検討  
（東京オフィス（CIC）の今後についても）／海外オフィス など
- 例2) 高校との連携
- 1) 理事・副学長に高大連携担当を設置（==>地域の教育レベルの向上に寄与）
- 例3) 保護者・市民との連携
- 1) 入学式における保護者との懇談会
  - 2) 附属学校を介した保護者との連携
  - 3) 大学の日常的な教育研究活動を介した保護者・市民との連携の強化 など
- 例4) 地域社会との連携
- 1) 都市戦略会議など／高等教育コンソーシアムの強化／地域医療の高度化 など

32

- 1) 熊本大学の歴史と今日：再認識のために
- 2) 大学を取り巻く状況
- 3) アジアの中の日本／世界の中の日本
- 4) 熊本大学の活動から  
世界に飛躍する研究活動等の例  
評価・説明責任（様々なステークホルダー）  
社会貢献（地域社会／国際連携）

34

ご清聴ありがとうございました

在学生／卒業生／教職員／市民の皆様 にとって  
誇れる大学 から 憧れの大学 へ

本学の輝く将来に向けて努力！！

今をチャンスに変わる/変える：変化に対応する攻めの姿勢  
（我々は改革を推進できる！）

大学の役割は今後益々大きくなる

財政状況困難の中で

大学の社会的責任を果たすことが求められる！

本学の真価が問われることになる